

登ってみよう! 石垣 ワンダーランド 国史跡 飯盛城跡 散策マップ



大東市

飯盛城跡ってどんなお城？

飯盛城は戦国時代に山の上に築かれた「山城」です。残された文献から当時ではめずらしい山上居住の山城であったことがわかっています。城内には城主や家臣が住み、そこで政治が行われました。また、連歌会(れんがかい)や茶会が催される文化交流の場でもありました。

誰が住んでいたの？

1530年には木沢長政(きざわながまさ)の城であったことがわかっています。その後は安見宗房(やすみむねふさ)が城主となり、1560年に三好長慶(みよしながよし)の居城となります。三好長慶は阿波(現在の徳島県)出身の戦国武将で、織田信長(おだのぶなが)に先駆ける最初の天下人といわれています。

三好長慶肖像(聚光院蔵)



V郭(御体塚郭)

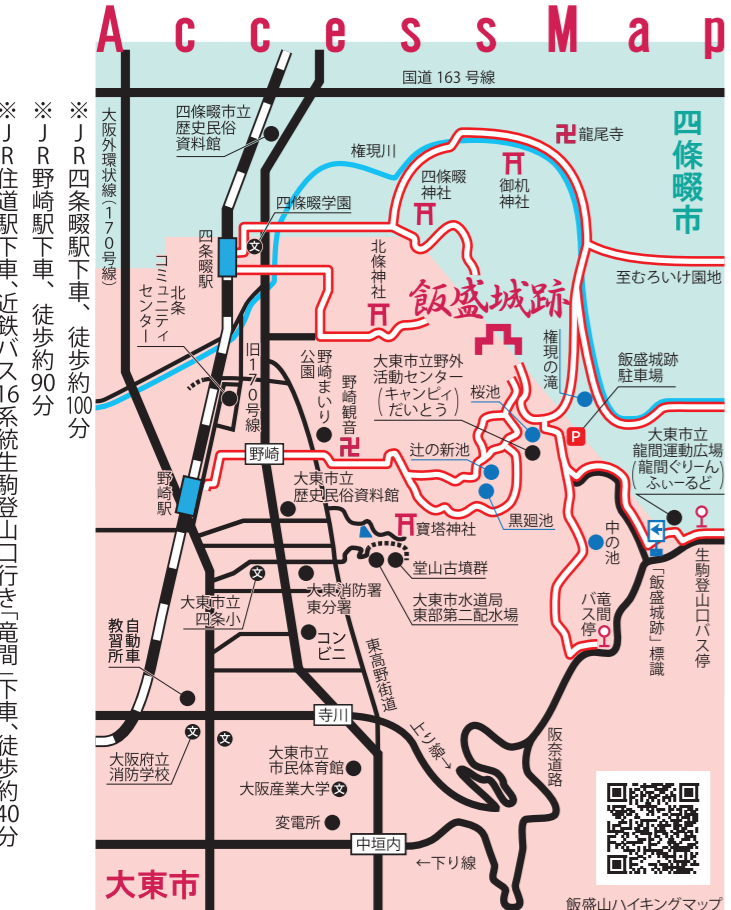
三好長慶が仮埋葬されたという言い伝えが残る曲輪です。発掘調査では埴列建物跡(せんれつたてものあと)が発見され、台付きの土師器皿など特殊な土器が出土しています。曲輪の中央には露岩があり、磐座信仰(いわくらしんこう)との関連が推定されることから、宗教的な性格を持つ空間である可能性があります。



VII郭から西側を望む

眺望

飯盛城は高野山と京都をつなぐ当時の幹線道路であった東高野街道(ひがしこうやかいどう)と、飯盛城と堺を結ぶ水路であった深野池(ふこのいけ)が近くに位置していました。山上からは京都方面から四国までを見渡すことができ、その範囲は三好長慶が支配した範囲と重なります。

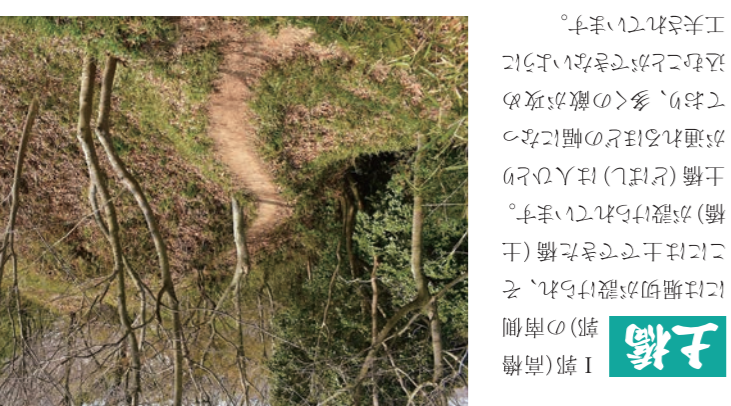


お問い合わせ
大東市産業・文化部生涯学習課(発行) [令和5年3月初版第1刷発行]
〒574-0076 大阪府大東市曙町4番6号
Tel 072-870-9105 Fax 072-870-9687



土郭

山頂に構えられたI郭を中心とする北エリアは、防御空間として利用されました。東西の支尾根には曲輪群が構えられ、石垣が多く築かれています。山頂の曲輪には近代に建てられた構正行(くすのきまきつら)の銅像と国旗掲揚台(こうきけいようたい)があり、行(くすのきまきつら)の銅像と国旗掲揚台(こうきけいようたい)があり、本格的な石垣が多く残されています。石垣は、自然石を利用した野面積み道(とじょうみち)が想定される。東側の東側に集中して築かれていた。虎口や城の西側斜面にも築かれています。登城道や虎口など多くの人が通る場所に石垣を築くことで城主の威光を示したと考えられます。



I郭(高橋土橋)の南側には堀切が設けられ、そこには土でできた橋(土橋)が設けられています。土橋(どばし)は人ひとりを通れるほどの幅になっており、多くの敵が攻め込むことができずに工夫されています。



石垣

飯盛城には三好氏による築かれたと考えられる本格的な石垣が多く残されています。石垣は、自然石を利用した野面積み道(とじょうみち)が想定される。東側の東側に集中して築かれていた。虎口や城の西側斜面にも築かれています。登城道や虎口など多くの人が通る場所に石垣を築くことで城主の威光を示したと考えられます。



V郭の北側には、飯盛城跡の中でも最大規模の堀切(ほりきり)が構えられています。この堀切によって主尾根は完全に分断されており、尾根伝いの敵の進入を防いでいます。



虎口

虎口(こら)は、城の出入口の両側には、大振りな石材を使用し、敵が虎口から簡単に侵入できないように工夫されています。石垣が築かれています。西側にはIX郭、東側には曲輪(くる)を構えており、敵が虎口から簡単に侵入できないように工夫されています。



虎口(こら)は、城の出入口の両側には、大振りな石材を使用し、敵が虎口から簡単に侵入できないように工夫されています。



VIII郭(千畳敷郭)

NHK-FM送信所の建つ曲輪を中心とした飯盛城跡の南エリアは、居住空間として利用されてきました。発掘調査では、建物の柱の礎石(そせき)や日常生活に使われた土器、茶道具などが発見されました。広大な面積の曲輪で構成されており、石垣が少ないことも特徴です。



曲輪で構成されており、石垣が少ないことも特徴です。

飯盛城跡のまどろを紹介しします。

国史跡 飯盛城跡案内図



◀至北條神社 (急坂注意)

至四條塚神社 (急坂注意) ▶

◀辻の新池付近で七曲りコースと合流

◀至慈眼寺七曲りコース

◀南尾根コース

大東市立
野外活動センター
(キャンピだいてう)

● 駐車場

至竜間バス停 ▼

▲ 急傾斜足元注意

- お城の用語 【曲輪 (くるわ)】 山を切り盛りしてつくった平坦面
 【土壘 (どるい)】 土を盛り上げてつくった防御壁
 【切岸 (きりぎし)】 人工的につくった急斜面
 【堀切 (ほりきり)】 尾根を遮断する空堀
 【縦堀 (たてぼり)】 斜面に沿って掘られた空堀
 【畝状空堀群 (うねじょうからほりぐん)】 縦堀とそれに沿う土壘を交互に3条以上並べたもの



**戦国時代の飯盛城を
アプリで見よう!**

アプリダウンロードは
こちらから ▶

